

2013
第44号

8万

(須賀川市人口 77,273人 5月1日現在)
[前年度比 △468人]

岩瀬郡役所

岩瀬郡役所は、明治時代から大正時代にかけて、岩瀬郡の行政府として機能した機関です。明治12年(1879)、福島県第八地区が岩瀬郡となったことを契機に、現在の須賀川市中央公民館と図書館の位置に開庁しました。

明治25年(1892)には全面改築され、洋風建築の堂々たる庁舎になるとともに、新たに議事堂も建築されました。

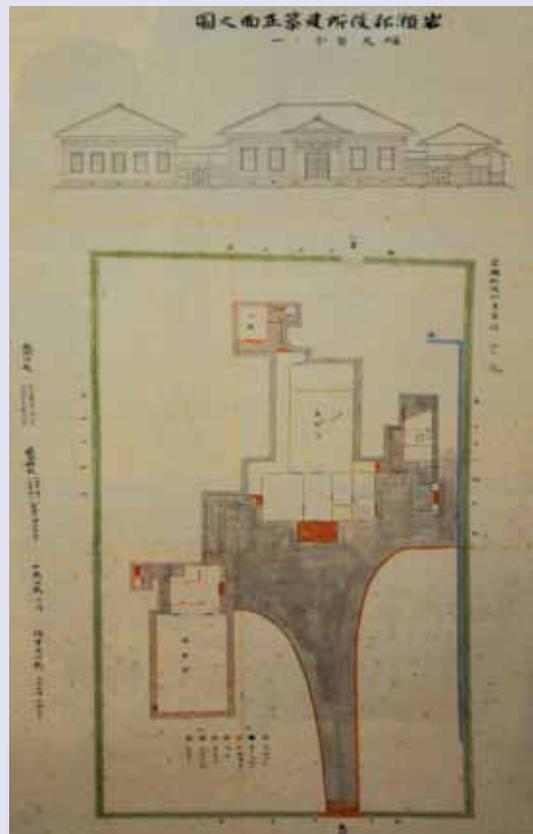
大正15年(1926)に岩瀬郡役所はその役目を終えましたが、建物はその後も岩瀬地方事務所などにも使われ、岩瀬郡で中心的な役割を果たし続けました。



郡役所議事堂 (昭和40年代～50年代頃の様子)



岩瀬郡役所 (昭和の中頃の様子)



岩瀬郡役所建築正面之図 (須賀川市立博物館蔵)

もくじ

- 平成24年度政務調査費・・・・・・・・・・2～3
- 委員会の活動報告・・・・・・・・・・4～6
- 6月定例会のお知らせ・・・・・・・・・・7
- 委員会活動の紹介・編集後記・・・・・・8

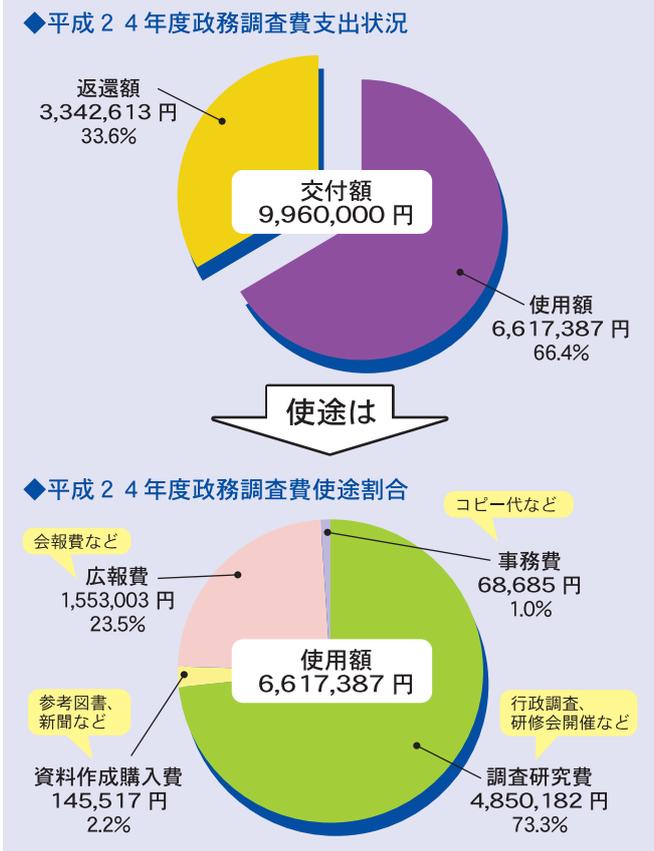
すかがわ探訪

政務調査費

このように使用されています

本市では、議員の調査研究に必要な経費の一部として、平成13年度より使用基準を定め、議員一人当たり月額3万円を会派に交付しています。年度末までに支出残額がある場合は市に返還しています。

使途の内容については、その都度領収書とともに行政調査報告書を提出しています。本号では、平成24年度の政務調査費の決算についてお知らせします。



■平成24年度政務調査費決算一覧表

(単位：円)

会派名	会派構成	※会派への 交付額(A)	会派での 支出合計(B)	内 訳				収支差引き (A-B) 市への返還額
				調査研究費	資料作成購入費	広報費	事務費	
志政会	広瀬吉彦 高橋秀勝 大内康司 佐藤瞭二 塩田邦平 五十嵐伸 関根保良 大寺正晃 安藤 聡 (本田勝善 H24.8.7 脱会)	3,390,000	3,016,033	2,701,663	0	314,370	0	373,967
新政会	生田目進 加藤和記 市村喜雄 鈴木忠夫 渡辺忠次 (相楽健雄 H24.7.25 加入) (本田勝善 H24.12.19 加入)	2,130,000	1,326,224	1,097,644	6,820	221,760	0	803,776
誠心クラブ	大越 彰 八木沼久夫 車田憲三 石堂正章	1,440,000	716,866	542,888	8,750	162,393	2,835	723,134
市民連合	大倉雅志 水野敏夫 菊地忠男 鈴木正勝	1,440,000	804,655	392,780	31,885	367,120	12,870	635,345
日本共産党 市議団	橋本健二 丸本由美子	720,000	638,402	0	98,062	487,360	52,980	81,598
洗心	森 新男	360,000	0	0	0	0	0	360,000
市政・花の会	川田伍子	360,000	115,207	115,207	0	0	0	244,793
悠成会 H24.12.19 解散	本田勝善	120,000	0					120,000
合計		9,960,000	6,617,387	4,850,182	145,517	1,553,003	68,685	3,342,613
構成比	7会派 28人	100.0%	66.4%	-	-	-	-	33.6%
支出額の構成比			100.0%	73.3%	2.2%	23.5%	1.0%	

の4会派は、政務調査費交付に限り認められている会派名

政務調査費 9,960,000円 (27人×30,000円×12か月=9,720,000円、1人×30,000円×8か月=240,000円)

■平成24年度会派行政調査・研修会一覧

期 日	会派名	参加者	調査・研修先	調査・研修内容
H24.5.9 ～ 10	志政会	6	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	これからの政治の行方 / 日本経済・地域経済 地方議会の役割と改革の行方
H24.5.15 ～ 17	志政会	10	島根県出雲市 鳥取県境港市	新庁舎建設 地域資源を活かした地域活性化
H24.7.23 ～ 26	市民連合	4	青森県三沢市 青森県五所川原市 北海道北斗市	出店補助金と街中にぎわい 新エネルギー設備導入促進事業 安全安心住宅リフォーム促進支援事業 特産品 複合文化施設のあり方 工場立地の補助制度
H24.8.1 ～ 3	誠心クラブ	4	滋賀県近江八幡市 全国市町村国際文化研究所	まちづくり協議会による特色ある地域づくり 市町村議会特別セミナー
H24.8.1 ～ 3	新政会	5	北海道札幌市 北海道富良野市 北海道旭川市	市民まちづくり活動促進総合事業 市民との協働による都市計画制度普及事業 中心市街地活性化基本計画 まちなか活性化交流拠点創出事業
H24.8.1 ～ 3	市政・花の会	1	北海道札幌市 北海道富良野市 北海道旭川市	市民まちづくり活動促進総合事業 市民との協働による都市計画制度普及事業 中心市街地活性化基本計画 まちなか活性化交流拠点創出事業
H24.11.5 ～ 7	志政会	9	北海道小樽市 北海道函館市	移住交流推進研究会 地域交流まちづくりセンター
H25.1.28 ～ 30	志政会	8	静岡県袋井市 (株)げんきの郷 愛知県新城市	I C T街づくり推進事業 地産地消の複合拠点施設による農業と地域の 活性化 新城市新庁舎基本計画
H25.2.12 ～ 14	誠心クラブ	3	名張市 大府市	ゆめづくり地域予算制度 福祉・教育総合相談支援事業
H25.2.12 ～ 14	新政会	7	独立行政法人理化学研究所 倉敷市 総社市	大型放射光施設 S P r i n g - 8 及び X 線自由電子 レーザー施設 S A C L A 児島交流センター 子育て王国そうじゃ事業
計	10 件	57 人		

■会派報一覧

会派名	会報名	内 容
志政会	志政会だより	平成 25 年 1 月 25 日発行 24,000 部 会派提出要望書の概要、会派行政視察報告など
新政会	新政会だより	平成 25 年 1 月 23 日発行 23,700 部 平成 25 年度予算要望など
誠心クラブ	誠心クラブ会報	平成 25 年 3 月 24 日発行 23,000 部 平成 25 年度重要施策に対する要望書、平成 24 年度行政調査報告など
市民連合	議会報告「道」 議会報告「しぎかい」 市政報告「あすなる」 市議会だより	平成 24 年 7 月発行 7,000 部 新庁舎建設、会派行政視察報告、会派所属議員の一般質問概要など 平成 25 年 1 月発行 7,000 部 平成 25 年度会派予算要望、新庁舎建設、会派所属議員の一般質問概要など
日本共産党 市議団	日本共産党市議会だより	平成 24 年 4 月発行 15,000 部 新年度予算の組替え要求など 11 月発行 15,000 部 放射能・原発対策など 平成 25 年 2 月発行 15,000 部 暮らし・福祉を守るなど
	議会レポートかけある記	所属議員による活動レポート 毎週 1 回発行 379 号～ 419 号 (各号 1,000 枚)

議会運営委員会

本委員会では、2月に千葉県流山市と東京都千代田区を訪問し行政調査を行いました。

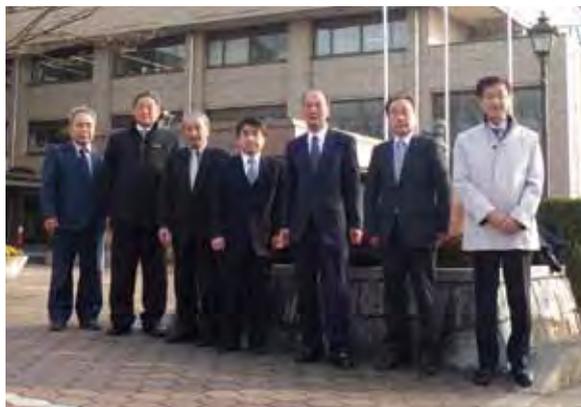
千葉県流山市は、議会改革で度全国一位とランク付けされており、市民に開かれた議会を標榜して、市民とともに時間をかけて議会基本条例の判定、市民との対話のため議会報告会を年間2回実施、議員の表決結果をスマートフォンを活用しての公表、議会だよりも市民の専門家を加えて編集していることなど大変参考になりました。本市においても、できるところから採用すべきと感じました。

次に東京都千代田区においては、本会議場が、議長席以外は、フラット床で議席の並びが斜行型で対面式となっていました。

採決は電子投票を採用していましたが、費用対効果の面で疑問を感じました。

新庁舎改築時の本会議場建設に当たり、参考にできることも多く、提案していきます。また、市民の皆様にわかり

やすく身近な市議会となるよう議会の活性化や透明化を進め、一般質問の充実を図るため様々な方策を試み、当局とより質の高いやり取りができるよう努めています。



議会運営委員会のメンバー

委員長
副委員長
委員

八木 沼久夫
関根 保良
大寺 正晃
塩田 邦平
広瀬 吉彦
加藤 和記
菊地 忠男
橋本 健二

予算委員会

本委員会では、市民の皆さんから預かった税金を当局がどのように執行していくのか審査を行っています。

予算の審査は、議長を除く27人の委員で行い、当初予算については3日間、年度の途中で提案される補正予算については、その都度審査を行います。

当市の本年度の当初予算は、一般会計が約440億円、国民健康保険や介護保険などの特別会計が約191億円ですが、それらの全ての項目について、集中審議をいたしました。

審査においては、財源の確保、事業の必要性や効果、税金の無駄遣いはないか、市民の要望が反映されているか、今後の財政運営に問題はないかなどの様々な視点から、各委員より質疑がなされ、当局に説明を求めました。

近年の動向としては、歳入経費中の市税収入が平成24年度約76.7億円から平成25年度約85億円と約8.3億円の増となっております。

また、歳出経費中の衛生費

は、平成24年度が約48億円から平成25年度が約11.8億円と約70億円の増となっております。

これは、住宅等除染対策事業費などの福島原発事故災害対策費として、約92億円が含まれているからです。

このように大変厳しい財政運営となっておりますが、今後とも少ない経費で最大の効果が得られる予算となるよう提言・審査してまいります。



予算書の書類

委員長
副委員長

広瀬 吉彦
関根 保良
議長を除く全議員



6月定例会のお知らせ

会期運営予定表

月 日	会議の内容
6月6日(木) (ライブ中継)	本会議
	会期の決定
	会議録署名議員の指名
7日(金)	議案調査
8日(土)	休会
9日(日)	休会
10日(月)	議案調査
11日(火) (ライブ中継)	本会議
	一般質問
12日(水) (ライブ中継)	本会議
	一般質問
13日(木) (ライブ中継)	本会議
	一般質問
	議案に対する総括質疑
	議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑 議案、請願の委員会付託
14日(金)	委員会
	総務常任委員会
	建設水道常任委員会
15日(土)	休会
16日(日)	休会
17日(月)	委員会
	生活産業常任委員会
	教育福祉常任委員会
18日(火)	委員会
	予算委員会
19日(水)	事務整理
20日(木) (ライブ中継)	本会議
	委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と採決
	請願(委員長報告)の質疑と採決
	継続調査事件の申し出(委員長報告)

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

各常任委員会での審査報告と採決を行います。

提出案件

6月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

○単行議案

- ・須賀川市税条例の一部を改正する条例
- ・須賀川市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・須賀川市子ども・子育て会議条例

ほか10件

○予算

- ・平成25年度須賀川市一般会計補正予算(第1号)
- ・平成25年度須賀川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

ほか4件

○報告

- ・平成24年度郡山地方土地開発公社決算について
- ・平成24年度公益財団法人須賀川市スポーツ振興協会決算について

ほか6件

議会傍聴してみませんか。

本議会や委員会はいずれも午前10時からの開会を予定しており、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴ができます。

本会議を傍聴するときは、岩瀬支所3階へ、委員会を傍聴するときは、岩瀬支所2階へお越しください。

本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。

(<http://www.city.sukagawa.fukushima.jp>)
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎65-2409

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

◆ 委員会活動の紹介 ◆

地方自治法では、地方議会の委員会設置や権限などが規定されており、須賀川市議会では、議員がいずれかに所属する総務、建設水道、生活産業、教育福祉の各常任委員会と議会広報、予算の計6常任委員会があります。そのほか、議会の運営を円滑に進めるために議会運営委員会、特定の事件について一定期間審議する特別委員会があります。

現在は、震災復興及び放射能汚染対策特別委員会と議会制度改革特別委員会の2つが設置されているとともに、例年9月には決算特別委員会を設置し、決算審査の結果を新年度予算編成に反映できるように当局に申し入れを行っています。

これらの委員会の設置、所管、定数、任期などは、須賀川市議会委員会条例で規定しています。

委員会では、議案審査や所管する事務事業の調査などを行い、多岐にわたる案件に対応しています。また、委員会ごとに各テーマを設け、継続して会議を開催し、現地調査や先進地調査などの活発な委員会活動を行っています。

各委員会のより詳しい活動状況は、市議会ホームページと市議会だよりで随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

編集後記

大震災以来2年3か月の月日がたちました。昨年度モデル地区による除染作業が完了し、いよいよ本格的な除染が始まっています。除染作業が、効率よく順調に進むことに、今後とも議会として注視していきます。

今月号の表紙を飾ったのは岩瀬郡役所で、現在の中央公民館の敷地内に在りました。歴史上では、非常に重要な役割を担った機関でした。

2ページ目からは、常任委員会などの議会閉会中における活動の紹介・報告を掲載しました。各委員会では市民の負託に応えるべく、閉会中の活動をより充実していきます。

また今回より、紙面内容を分かりやすくするため、表紙に「もくじ」を掲載しましたのでご利用ください。

さて、須賀川市は先月、「ウルトラの星 光の国」と姉妹都市提携を結びました。ウルトラマンの生みの親である、特撮の神様 円谷英二監督と共に、「子供達に夢と勇気を」の合言葉のもと、邁進して行きたいと思えます。

議会広報委員会

委員長 五十嵐 伸
副委員長 石堂 正章
委員 安藤 正
本田 勝
相楽 善
川田 雄
市村 敏夫
水野 夫

